| 授業科目名・形態 | 介護過程Ⅲ　講義 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 石岡　和志 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 2年後期 |
| 科目ナンバリング | W4-2039c | | | | |

**【授業の主題】**

本講では、クライエントの望む生活の実現に向けて生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学ぶ。また、介護過程のプロセス、ケアプランと個別援助計画の関係性、チームとして介護過程を展開していく意味、意義、方法に関して理解を深める。

**【到達目標】**

1） 介護過程とケアマネジメントの関係性を説明できる。
2） チームアプローチにおける各職種の役割について説明できる。
3） 対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開方法について説明できる。

**【授業計画・内容】**

第 1 回　介護過程の意義、目的・目標
第 2 回　チームアプローチにおける各職種の役割(講義)
第 3 回　介護過程とチームアプローチ(演習)
第 4 回　介護過程とケアマネジメントの関係
第 5 回　介護過程のプロセス：アセスメント(着眼点)
第 6 回　介護過程のプロセス：計画の立案(着眼点)
第 7 回　介護過程のプロセス：計画の実施
第 8 回　介護過程のプロセス：介護計画の実施評価
第 9 回　介護過程の展開における ICF の位置づけ
第１０回　ICF に基づく情報収集の視点
第１１回　ICF の構成要素の概観
第１２回　介護過程実施評価表について
第１３回　介護人材に求められる機能：『介護過程』が必要とされる理由
第１４回　今までの振り返り
第１５回　まとめ

**【授業実施方法】**

講義および演習をおこなう。

**【事前・事後学習】**

毎回、テキストを中心に 2 時間の予習及び講義内容を踏まえた 2 時間の復習を行うこと。事例から、クライエントの望む生活の実現には、どのような支援が求められるかを考えておくこと。

**【主な関連する科目】**

介護総合演習、介護の基本、障害者福祉論

**【教科書等】**

最新・介護福祉士養成講座 9　介護過程（第 2 版)、中央法規　「ヘルプマン！」に学ぶ介護過程　中央法規

**【参考文献】**

田中安平：プロとしての介護福祉士を目指すあなたに、ラグーナ出版、2016 年

**【成績評価方法】**

授業態度（10%)、提出物（30%)、定期試験（60%）で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

高齢者福祉施設で計画担当介護支援専門員として勤務していた経験を活かし、介護過程とケアマネジメントの関係性について講義したい。

**【学生へのメッセージ】**

介護過程について、ケアプランとの関係、チームケア、ICF の視点から理解を深めていく。また、介護実習Ⅱでの学びを内省し、実践知と理論を結びつけながら介護実践が行えるようにしてほしい。